

市報ぎょうだ Gyodda

CITY PUBLIC RELATIONS

June 2025

6

No. 948



特集 給食には食べたくなる理由がある



給食には
食べたくなる
理由がある

🍷 地産地消のこだわり

地産地消は旬の食材をおいしく味わえるだけでなく、生産者の顔が見えることで地場産物に対する理解や関心を深め、地元への愛着を育てることもつながります。
旬な野菜を使用している他、米飯は全て行田産の米を使用しています。

🍷 安全・安心のために

食材は90度以上1分間加熱をして、調理をしたものは温度を測って加熱不足がないか確認しています。
また、食中毒を防ぐため、サラダなどに使う野菜は必ず加熱し、真空冷却機で一気に5度まで冷却し細菌やウイルスの繁殖を防いでいます。

🍷 学校給食の目的

学校給食法は、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ることを目標の一つとしており、学校給食は1日に必要な栄養素の約3分の1が摂取できるように作られています。また、家庭で不足しがちなカルシウムは約2分の1が摂取できるようになっています。

🍷 給食専用の食器



食器には食材の色が移りにくく、長く使い続けても化学物質が出ることがない安全な強化磁器を使用しています。

🍷 みんなで食べるとおいしい



クラスみんなで食事をする事で「楽しく食えること」「協力して準備や後片付けができること」など、給食を進んで食べようとする意欲を育てます。

🍷 ワクワクする給食



市では各学校の希望を反映した「リクエスト給食」や本に登場する料理を取り入れた「おはなし給食」などを実施し、給食への関心を高める工夫をしています。

🍷 給食レシピ公開中

市ホームページでは給食の人気メニューのレシピを紹介しています。家庭でのごはん作りの参考にしてみてください。



給食レシピ紹介



おはなし給食紹介動画

毎日さまざまな食材、メニューが提供される給食。誰も思い出の給食があるのではないのでしょうか。
質と量と栄養バランスを考慮した献立作りの他、食材調達、調理など給食が学校に届くまでには多くの人が関わっており、たくさんの工夫と思いが詰まっています。子どもたちの健やかな成長を支える「学校給食」に込められた愛を探してみましょう。

あの頃の給食メニュー

写真提供：日本スポーツ振興センター（昭和27・44・58年）、（公財）埼玉県学校給食会（平成11年）



おじいちゃん・おばあちゃん世代

- 昭和27年
- ・コッペパン
- ・鯨の竜田揚げ
- ・ミルク（脱脂粉乳）

お母さん・お父さん世代

- 昭和44年
- ・スパゲッティ
- ・プリン
- ・牛乳（瓶）

- 昭和58年
- ・ツイストパン
- ・ほうれん草グラタン
- ・牛乳（紙パック）

- 平成11年
- ・なす南蛮うどん
- ・ゼリーフライ
- ・みかん

現在

- 令和7年
- ・チキンライス
- ・たらの香草焼き
- ・クリームスープ

6月は食育月間

今年は食育基本法が公布・施行されてから20年の節目の年です。食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものです。そして、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることであります。

主菜

肉や魚、卵を中心としたたんぱく質が摂取でき、魚は旬の時期を意識し、和・洋・中に合わせて味付けや調理法を変えて飽きない工夫をしています。

栄養満点

5月の行事食
-かしわ餅が出ました-



副菜

ビタミン、食物繊維などの栄養素を摂れるように主に野菜を使ったメニューです。

牛乳

成長期に必要なカルシウムが効率よくたくさん摂取できます。

汁物

和食の汁物は、厚削り節から出汁をとって薄味にし、不足しがちな野菜を補えるように具たくさんにしています。

主食

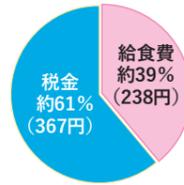
米は全て行田産を使用し、うどんに使われる小麦は埼玉県産です。



1食当たりの給食費は小学生238円・中学生281円

1食当たりの給食に掛かる総費用は、小学生605円、中学生715円です。そのうち保護者の皆さんからお預かりした給食費は、全て食材費に充てられ、1食当たり小学生238円、中学生281円です。食材価格の高騰分、その他給食を作るために必要な施設設備費、光熱水費、人件費などは全て税金で賄われています。

給食1食の総費用(小学生)



苦手な食材やメニューでも、一口食べてほしい



調理師
中村 祐貴
さん

学校給食はとにかく大量調理です。配缶の際には具を均等に配分することを意識しています。材料の切り方や味付けなど、給食にはおいしく食べてもらうための工夫が施されています。だからこそ食わず嫌いをせず、まず一口チャレンジしてほしい。残食ゼロの食卓ほどうれしいものではありません。

子どもたちの素直な反応と、「給食マジック」が嬉しい



栄養技師
東川 啓子
さん

偏食のある子が学校でならば食べられる「給食マジック」は、みんなと一緒に自分も頑張れるという給食ならではのものです。「おいしかった」という声は、やりがいにつながります。食べることは生きること。命をいただいていることへの感謝を忘れず、給食や家族との食事を楽しんでほしいです。

たくさんの人に支えられ、作られる給食を食べて元気に



栄養教諭
稲井 紗也加
さん

献立を考える際には、旬なもの、地元のものなど食材の選定にも気を付けています。最近は物価高騰により食材費が上がり、その中でいかに栄養価の充実を図れるか日々工夫を凝らしています。食材を作っている人、調理をしている人がいることを忘れず、給食をたくさん食べて元気に成長してほしいです。

今日もありがとう
ごちそうさまでした



▶問い合わせ 学校給食センター ☎553-1114

毎日2つのメニュー 衛生面におけるリスク分散、安定的に食材を調達することを目的として、給食のメニューをAコース（東・北小学校を除く全小学校）とCコース（東・北小学校と全中学校）の2つに分けています。

①準備・打ち合わせ 午前8時ごろ～



白衣、帽子、マスクを着用し丁寧に手を洗い消毒します。その後、その日の調理作業の流れや注意点を確認します。

②食材の下処理



野菜は専用シンクで丁寧に3回洗います。肉や魚などの食材に異物が入っていないか入念に確認し、献立ごとに下味や衣を付けます。

③調理 午前9時ごろ～

焼き物機、揚げ物機などさまざまな大型調理器を使用して、調理を進めます。



回転釜

炒め物や煮物などの主菜や副菜を作ります

学校給食センターひまわりの1日

平成7年に開設した「行田市立学校給食センターひまわり」では毎日、栄養士2人、調理師など約30人で市内全ての小・中学校20校、約5,500人分の給食を作っています。朝6時30分。ボイラーを稼働し、食材の確認から学校給食センターの1日が始まります。



煮炊き釜

味噌汁やカレーなどの汁物を作ります

スチームコンベクションオープン

一度に約1,000個のシューマイや厚焼きたまごを作ることができます

⑥食器類の洗浄 午後1時30分ごろ～



戻ってきた食器類などはそれぞれ専用の機械で洗浄し、消毒保管庫に入れて熱風消毒します。

⑤配送・検食 午前11時ごろ～



9台のトラックで20校の学校に給食を配送します。子どもたちが食べる前に検食します。

④配缶 午前10時30分ごろ～

栄養士などの味見の後、出来上がった給食をクラスごとに配缶していきます。



右の道具でかき混ぜ、左の道具では1杯で17～20人分の給食をすくい、配缶します



「命と暮らしを守る道づくり全国大会」
で行田市長が意見発表を行いました



行田市長

5月14日、都内で「令和7年度命と暮らしを守る道づくり全国大会」が開催されました。この大会は、全国から市町村長が出席し、国土交通省や国会議員に対して道路予算の確保を求めるもので、今年は1,200人を超える関係者が集まりました。この場で、全国の市町村長を代表して行田市長が意見発表を行い、埼玉県北部地域の活性化や国土強靱化のための「国道17号熊谷バイパスの高速道路化」などに向けて、道路予算の積極的な確保を国に求めました。今後も市では、国道17号熊谷バイパスの高速道路化や上尾道路2期区間の早期開通などを積極的に国に要望していきます。

▶問い合わせ 都市計画課計画担当 ☎550-1550

新しい公園の名前を募集します

若小玉地内において、行田富士見工業団地拡張地区産業団地整備事業により新しい公園が整備されました。このたび、市民の皆さんに親しまれ、憩いの場になるよう整備された公園の名前を募集します。

▶募集期間 6月20日(金)まで

▶応募条件

- ・漢字、ひらがな、カタカナで表記され読み書きが簡単であるもの
- ・覚えやすく、親しみやすいものであるもの

▶応募方法 応募用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、持参、郵送、FAX、Eメールで都市計画課に提出してください。

【持参・郵送】〒361-0038 行田市前谷1-1 行田市都市計画課

【FAX】553-4544

【Eメール】toshi@city.gyoda.lg.jp

▶その他 詳しくは、市ホームページをご確認ください。

▶問い合わせ 同課公園担当 ☎550-1550



市ホームページ

サイカン工業株式会社と行田市地域安心ネットワークに関する協定を締結しました



協定を締結した清水貞一代表取締役社長(左)と行田市長

4月16日、サイカン工業株式会社と「行田市地域安心ネットワークに関する協定」を締結しました。

この協定は、高齢者や障がい者をはじめ、市民の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活することができる地域づくりを目的として、日頃の業務中において、地域の見守り活動や声掛けなどを行ってもらうことで、何らかの異変に気付いたときに市役所や警察などに連絡していただくものです。

これにより、地域の見守り体制を強化するとともに、異変の早期発見と適切な支援につなげていきます。また、市ではこの取り組みに協力していただける団体、事業者を随時募集しています。

▶問い合わせ 地域共生社会推進課地域福祉担当(内線 285)



新設公園箇所

春の叙勲

このほど、春の叙勲の受章者が発表され、行田市からは石井直彦氏が旭日双光章、春田盛男氏が瑞宝双光章、齋藤悦弥氏が瑞宝単光章を受章されました。また、危険業務従事者として道下浩幸氏、清水謙二氏、松枝澄夫氏、柳芳夫氏、今枝正一氏が瑞宝双光章、石川隆二氏、田中眞一氏が瑞宝単光章に輝きました。

	瑞宝単光章		瑞宝双光章		旭日双光章
齋藤 悦弥氏 (70歳・北河原) 元行田市消防団分団長		春田 盛男氏 (70歳・若小玉) 元公立中学校長		石井 直彦氏 (81歳・西新町) 元行田市市長	
	瑞宝双光章		瑞宝双光章		瑞宝双光章
松枝 澄夫氏 (73歳・長野) 元県警部		清水 謙二氏 (74歳・門井町) 元警視庁警部		道下 浩幸氏 (61歳・佐間) 元2等空佐	
	瑞宝単光章		瑞宝単光章		瑞宝双光章
田中 眞一氏 (73歳・栄町) 元県警部		石川 隆二氏 (73歳・下忍) 元県警部補		今枝 正一氏 (65歳・佐間) 元東京消防庁消防正監	
					瑞宝双光章
				柳 芳夫氏 (73歳・駒形) 元警視正	

7月1日(火)から「うきしろ号」の運行内容を見直します

1月6日から運行を開始した乗合型AIオンデマンド交通「うきしろ号」について、次のとおり見直しを行います。見直し内容は、7月1日(火)の乗車分から適用します。

①予約の締切時間を短縮します

乗車時間の90分前までとしている予約の締切時間を45分前に短縮します。

	現在	7月1日(火)~
予約開始	利用希望日の7日前	変更なし
予約締切	乗車時間の90分前	乗車時間の45分前

②指定乗降場所を追加します

指定乗降場所を6カ所追加します。これにより、指定乗降場所は778カ所となります。

A 医療機関		所在地
A-92	ライム薬局 本丸店	本丸13-4
A-93	ライム薬局 持田店	持田3-4-11
B 鍼灸・接骨・整骨院		所在地
B-28	行田みらい接骨院	前谷679-1
C 福祉関連施設(高齢者)		所在地
C-43	ふあみいゆ東館	下須戸65-1
N その他		所在地
N-14	立正佼成会 行田支部	佐間2-5-12
N-15	牧川音楽研究室	向町7-11

指定乗降場所の一覧は、市ホームページに掲載している他、交通政策課や公民館などで配布しています。

うきしろ号の詳細は、市ホームページをご確認ください。

▶問い合わせ 同課地域交通担当(内線 284)



市ホームページ

人権擁護委員に委嘱されました



茂木 美智代氏



長嶋 道枝氏

私たちの基本的な人権の擁護や自由人権思想の普及などのために活動する人権擁護委員に茂木美智代氏(長野)が新たに委嘱されました。

また、長嶋道枝氏(向町)は、3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員の任期は3年で、4月1日付けで法務大臣から委嘱を受けました。

▶**問い合わせ** 人権・男女共同参画推進課人権推進担当(内線221)

もの忘れ検診の対象年齢を拡大しました

65歳未満の方が発症する若年性認知症は、進行してからようやく認知症だと分かることが多く、診断が遅れてしまう傾向にあります。認知症は、早期発見・早期治療をすれば、進行を遅らせることができるものです。

今年度からもの忘れ検診の対象年齢が拡大しましたので、早期発見のために積極的に受診しましょう。

▶**期間** 令和8年2月28日(土)まで

▶**対象** 本市に住居登録がある方のうち、令和8年3月31日時点の年齢が50～70歳(昭和30年4月2日～昭和51年4月1日生まれ)の方(認知症治療中の方を除く)

▶**内容** 問診、浦上式検査(医師の質問に答える検査法)

▶**費用** 無料

▶**受診方法** 高齢者福祉課で「行田市もの忘れ検診受診票」の交付を受けた後、市が指定する医療機関に予約し、受診してください。

▶**実施医療機関**

医療機関名	住所	電話番号
医)行仁会 加藤内科医院	旭町3-2	556-3253
医)社団清幸会 行田中央総合病院	富士見町2-17-17	553-3360
医)結び会 松原医院	長野1-17-3	553-6700

▶**申し込み・問い合わせ** 同課地域包括ケア担当(内線278)

防災行政無線の試験放送および緊急地震速報訓練を実施します

市では、防災行政無線の操作卓整備を行い、市ホームページや浮き城のまち安全・安心情報メールなどに連動し、災害や防犯に関する緊急情報を迅速かつ広くお知らせすることが可能となりました。

そのため、次のとおり防災行政無線放送および情報配信の試験を行います。また、全国瞬時警報システム(Jアラート)による緊急地震速報訓練を実施します。

【防災行政無線の試験放送および情報配信】

▶**試験日時** 6月17日(火)午前10時ごろ(放送に併せて、市ホームページ、市公式LINE、メールが配信されます)

▶**放送内容** 上りチャイム音→「こちらは防災行田です。これは、防災行政無線の試験放送です。こちらは防災行田です。」→下りチャイム音

【緊急地震速報訓練】

▶**訓練日時** 6月18日(水)午前10時ごろ(市ホームページ、市公式LINE、メールは配信されません)

▶**放送内容** 上りチャイム音→「こちらは防災行田です。ただ今から訓練放送を行います。」→緊急地震速報チャイム音→「緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です。」(※3回繰り返し)→「こちらは防災行田です。これで訓練放送を終わります。」→下りチャイム音

防災行政無線音声確認サービスをご利用ください

放送内容が聞き取れない場合などに直近の放送を電話で聞くことができます。

☎0120-360-100(無料)

▶**問い合わせ** 危機管理課(内線282)

健康診査(旧ヤング健診)を受けましょう

健診を受けて自分の体の状態を知り、生活習慣病を防ぎましょう。

▶**期間** 6月2日(月)～令和8年2月28日(土)

▶**場所** 市内指定医療機関

▶**対象** 次のいずれかに該当する方

①昭和61年4月2日～平成22年4月1日生まれの方で、職場などで健診機会のない方(学生を除く)

②40歳以上の生活保護受給中で医療保険に未加入の方

▶**費用** 1,000円※生活保護受給中の方、特定中国在留邦人などで支援給付を受けている方は無料

▶**検査項目** 身長・体重測定、腹囲、理学検査、血圧測定、血液検査、尿検査など

▶**申し込み** 市公式LINE、直接、電話

のいずれかの方法により健康課

▶**問い合わせ** 同課(内線361～364)



市公式LINE

7月1日から子ども誰でも通園制度事業の利用料を1時間当たり300円とします

市では、現在国の試行的事業の「子ども誰でも通園制度」の利用料を無料で実施しています。

子ども誰でも通園制度は、今年度から子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の「乳児等通園支援事業」として制度化され、令和8年度から本格的に全国の自治体で実施されます。

全国的な制度化に伴い、国が標準的な利用料を1時間当たり300円としていることから、本市でも7月1日(火)から1時間当たり300円とします。

▶**利用料** 1時間当たり300円

※生活保護世帯、市民税非課税世帯の方は、子ども未来課での申請により利用料の減免が受けられます。

▶**支払方法** 利用時に利用券と一緒に直接施設にお支払いください。

▶**問い合わせ** 同課子ども・子育て担当(内線257・263・286)

夏休み期間に学童保育室での預かり保育を行います

夏休み期間中、定員に空きのある学童保育室で児童の預かり保育を実施します。利用を希望される方は期限までに申請してください。

▶**利用期間** 7月22日(火)～8月30日(土)(市内小学校夏休み期間中のみ) ※日曜日、祝日を除く

▶**利用時間** 午前7時30分～午後7時

▶**利用料** 7月分、8月分の2カ月分(いずれかの月のみ利用する場合は1カ月分) ※月額利用料は通常の学童保育室保育料に準じて算定

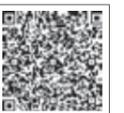
▶**申請方法** 子ども未来課で配布している申請書(市ホームページからダウンロード可)に必要書類を添付の上、6月18日(火)までに同課まで申請してください(土曜日・日曜日午後を除く)。

▶**利用基準** 夏休み期間中、次の利用基準に該当する方が申請できます。

- ①勤務終了時間が正午以降であること
- ②勤務日数が月平均15日(1年生の保護者は12日)以上であること
- ③監護が可能な同居(同敷地内)の親族がいないこと
- ④自宅における監護が難しいこと(家族の病気や介護なども含む)

▶**注意事項**

- ・定員に空きがある学童保育室に申請することができます。
- ・申請書類に基づき審査を行い、優先度の高い方から順に利用を決定します。
- ・学童保育室への送迎は、保護者が行ってください。
- ・昼食は各自で用意してください。



市ホームページ

▶**問い合わせ** 同課子ども・子育て担当(内線262)

教育文化センター「みらい」文化ホールの申し込み期間を延長します

教育文化センター「みらい」文化ホールの利用申し込みについて、6月から申し込み期間を延長し、利用希望月の12カ月前から申し込みすることができるようになります。

▶**Web・窓口・電話による予約開始日**

利用する月の12カ月前の1日から

▶**予約抽選(Webのみ)の申し込み期間**

利用する月の13カ月前の10日から25日まで

(抽選結果は抽選申し込み終了日の翌日)

▶**問い合わせ** 同センター☎556-2649

行田市太陽光発電施設の設置に関するガイドラインを制定しました

市では、太陽光発電施設の設置に関して、近隣住民の安全、周辺環境への配慮、近隣住民への周知の促進を図るため、行田市太陽光発電施設の設置に関するガイドラインを4月1日に施行しました。

このガイドラインは、令和7年10月1日以降に設置される太陽光発電施設について適用します。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



市ホームページ

▶**問い合わせ** 環境課☎556-9530

行田市畜産振興協議会から寄付金が寄贈されました



同協議会副会長 齋藤浩美さん(右)、
監事 五十嵐初江さん(左)と行田市長

4月16日、行田市畜産振興協議会から2,592,402円の寄付がありました。

同協議会は、昭和58年に養豚、養鶏、酪農、肉牛の畜産農家により設立され、本市の畜産業の発展を支え続けてきましたが、このたびの解散に伴い、長年積み立てた緊急防疫対策積立金などを市政に役立ててほしいと寄付されたものです。

寄付金は市の農業振興に活用させていただきます。

▶**問い合わせ** 農政課☎580-3013

市内店舗で使えるプレミアム付商品券を販売します

物価高騰などの影響を受けている市民および市内事業者への支援と落ち込んだ地域経済の活性化を促すため、「行田市プレミアム付商品券」を販売します。これまでの紙商品券に加え、PayPayアプリを通して使用できるデジタル商品券も販売します。

- ▶販売単位 1口10,000円(市内専用商品券10,000円、市内共通商品券3,000円、計13,000円分)
- ▶発行口数 【紙商品券】17,000口
【デジタル商品券】7,000口

- ▶購入対象 市内在住の方
- ▶購入限度額 1人2口20,000円
- ▶利用期間 8月4日(月)～12月25日(木)※期間を過ぎると利用できません。
- ▶利用可能店舗 行田市プレミアム付商品券取扱参加加盟店(店頭に表示)

※スーパーなどの大型店は市内共通商品券のみ利用可。紙とデジタルで利用できる店舗が異なるため、参加店舗は市ホームページでご確認ください。

▶申し込み 6月20日(金)(消印有効)までに往復はがき、行田市電子申請・届出サービス、市公式LINEのいずれかの方法により申し込みください。

【往復はがき】※紙商品券を希望する場合のみ
・所定の項目を記入し(右図「往復はがきの書き方」を参照)、行田市商店会連合会に郵送してください。申込結果は、6月下旬ごろに申込者全員へ返信用はがきを発送し、お知らせします。

※記入誤りや必要事項の記載がない場合は無効となります。
※はがきの記入には消せるボールペンを使用しないでください。

【行田市電子申請・届出サービス、市公式LINE】※デジタル商品券を含む申し込みを希望する場合

行田市電子申請・届出サービス、市公式LINEから申し込みください。申込結果は、6月下旬ごろに申込者全員にEメールでお知らせします。

▶抽選 販売枠を超えた場合は、公開抽選(6月25日(木)午後2時から商工センター403研修室)を行います。

※重複の申し込みは無効となります。また、申し込み後の希望口数の変更はできません。

▶商品券の引き換え 商品券は購入引換券(はがきの場合は返信用はがき、行田市電子申請・届出サービスまたは市公式LINEの場合はメールの当選通知画面)と代金を持参し、引き換えてください。

<紙商品券の場合>

【日時】8月4日(月)～29日(金)午前10時～午後4時※9日(土)、10日(日)以外の土・日曜日、祝日を除く。

【場所】8月4日(月)～10日(日)は商工センターホール
8月12日(火)～29日(金)は行田市商店会連合会事務局(商工センター3階)

<デジタル商品券の場合>

【期間】8月4日(月)～12月24日(木)
【方法】購入コードを7月下旬ごろにメールで送付します。PayPayアプリで購入コードを入力して購入してください。

▶その他 購入引換券を持参しない場合または引き換え期間を過ぎた場合、引き換えることはできません。また、紛失などによる購入引換券の再発行はできません。

▶発行者 行田市商店会連合会(紙商品券)、PayPay株式会社(デジタル商品券)

▶問い合わせ 同会事務局 ☎556-8003(午前10時～午後5時※土・日曜日、祝日を除く)または商工観光課 ☎580-3012

往復はがきの書き方
往信宛名面 返信文面

郵便往復はがき 往信 361-0077	《空欄》 ※何も記入しないでください
行田市忍2-1-8	
行田市商店会連合会 「プレミアム付商品券 申込係」行	

返信宛名面 往信文面

郵便往復はがき 返信 〇〇〇-〇〇〇〇	①購入希望口数 ()口
(申込者の) ①郵便番号	(申込者の) ②郵便番号
②住所	③住所
③氏名(フリガナ)	④氏名(フリガナ)
④購入希望口数 ()口	⑤電話番号



電子申請・届出サービス



市公式LINE

～行田の歴史と文化を感じるまち並みづくり～ ふるさとづくり事業をご活用ください

市では、足袋蔵などの歴史的資産を活用した景観整備を推進するとともに、地域の皆さんと一体となって、街なかのにぎわい創出と地域活性化を図るため「ふるさとづくり事業」を実施しています。

日本遺産構成資産などの歴史的建築物を改修して、対外的に利活用する事業や行田地区およびその周辺における行田らしいまち並み景観に配慮した外観の改修などを行う個人または事業者に対し、整備費用の一部を補助していますので、活用をご検討ください。

補助対象事業	対象エリア	補助対象者	補助対象経費	補助率	補助上限額
A. 日本遺産構成資産等建築物改修・活用事業 日本遺産構成資産もしくは足袋蔵などの歴史的建築物を改修し、または改造し、その建築物を10年以上にわたって対外的に利活用する事業	①日本遺産構成資産の所在地 ②行田地区およびその周辺	建築物などの所有者または建築物を借用し補助対象事業を実施する方	建築物の改修に係る工事および設計に要する費用	3分の2以内	2,000万円
B. 歴史的まち並み景観整備事業 行田らしいまち並みの景観に調和させる建築物などの設置または外観の改修などを行う事業	行田地区およびその周辺	建築物などの所有者または建築物を借用し補助対象事業を実施する方	建物などの外観に係る改修工事などに要する費用	2分の1以内 ※八幡通り沿線地区は3分の2以内	100万円
C. おもてなし・にぎわい創出事業 行田らしいまち並みの景観に調和した建築物などの利活用のための整備を行う事業	行田地区およびその周辺	建築物などの所有者または建築物を借用し補助対象事業を実施する方	建物などの内装に係る改修工事などに要する費用	2分の1以内	40万円

※過去の補助事例



改修および対外的な利活用
(シェア工房、レンタルスペースなど)



景観に調和させる外観の改修
(店舗)



景観に調和させる外観の改修
(塀)

▶主な補助要件

- ・市内業者による施工であること
- ・観光まちづくりや地域活性化に協力すること
- ・市税などの滞納がないこと
- ・政治的または宗教的な活動を行っていないこと

▶その他

- ・審査委員会の審査を経るため、申請から決定までおおむね2カ月程度かかります。
- ・A事業は事前協議が必要となるため、補助金の交付は、原則として同協議および審査委員会での採択を経た翌年度になります。なお、同協議の受け付けは、おおむね10月上旬ごろまでです。
- ・交付決定前に着手した事業は補助対象となりません。

▶問い合わせ 企画政策課企画政策担当(内線312)、B事業のうち八幡通り沿線地区に関する場合は都市計画課計画担当 ☎550-1550

ご存知ですか

交通遺児育英会奨学金制度

保護者が交通事故で死亡または重い後遺障害となった家庭のお子さんに奨学金を貸与します。

▶対象 保護者が交通事故で死亡・重度後遺障害となった高校生以上の生徒・学生

▶奨学金 月額2万円～10万円

▶入学一時金貸与制度 20万円～80万円

▶利子 いずれも無利子

▶返還 最長20年

▶問い合わせ 公益財団法人交通遺児育英会 ☎03-3556-0773

「子育てアプリおしのこ」を

配信しています

4月から「子育てアプリおしのこ」(母子手帳アプリ母子も)を配信しています。

妊娠・出産・子育ての記録の他、予防接種などのスケジュール管理、子どもの成長を写真とともに記録できる「できたよ記念日」など、さまざまな子育てに関する機能が充実しています。

無料でダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

▶問い合わせ こども家庭センター ☎579-8033



アプリダウンロードサイト

2025行田浮き城まつり各イベント参加者を募集します

浮き城だんべ踊り参加者

- ▶日時 7月27日(日)午後6時30分～7時(予定)
- ▶参加費 1人100円(保険料)
- ▶賞金 大賞・各部門賞に賞金総額10万円
- ▶説明会 6月14日(土)午後6時から商工センター401研修室で開催します。

前夜祭・本祭イベント出店者

- ▶日時 7月26日(土)午後4時～8時30分(予定)・27日(日)午後3時30分～8時(予定)
- ▶出店料 5,000円(1日)※急遽中止の場合も返金不可
- ▶出店形態 飲食での出店またはキッチンカー(間口4メートル×奥行1.8メートル)
- ▶説明会 6月10日(火)午後6時から商工センター401研修室で開催します。

ステージ出演者

- ▶日時 7月26日(土)午後4時～8時30分・27日(日)午後3時～5時45分(予定)
- ▶場所 まつり会場中央ステージ
- ▶参加費 無料
- ▶説明会 6月10日(火)午後7時から商工センター403研修室で開催します。

いずれも

- ▶申し込み 説明会の日に配付する申込用紙に必要事項を記入の上、6月30日(月)午後7時～8時に商工センター404研修室まで提出してください。※各説明会欠席の場合、参加・出店できない場合があります。
- ▶その他 祭り当日のボランティアを募集していますので、お気軽にお問い合わせください。
- ▶問い合わせ 2025行田浮き城まつり実行委員会事務局 ☎556-4115(土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時)

令和7年度埼玉県介護支援専門員実務研修受講試験の案内を配布します

要介護者などからの相談に応じ、適切な介護サービスを利用できるように市、サービス提供事業者などとの連絡調整を行う介護支援専門員が不足しています。

介護支援専門員実務研修受講資格のある方は、ぜひ資格取得をご検討ください。

- ▶配布期間 6月30日(月)まで※閉庁日を除く
- ▶配布場所 高齢者福祉課、行田市社会福祉協議会、埼玉県福祉事務所など
- ▶試験日 10月12日(日)
- ▶その他 詳しくは、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会ホームページをご確認ください。
- ▶問い合わせ 埼玉県社会福祉協議会研修開発部ケアマネジャー業務課 ☎048-824-3111



県社会福祉協議会ホームページ

木造住宅の耐震診断を無料で行います

市では、木造住宅を対象に簡易耐震診断を無料で実施しています。古い基準(昭和56年5月31日以前)で建てられた住宅の中には耐震性能が低いものがあり、大地震の際には倒壊してしまう恐れがあります。

自宅の耐震性能を確かめるためには、耐震診断を行うことが必要です。職員が自宅に伺い、診断しますので、ぜひご利用ください。

- ▶問い合わせ 建築開発課建築指導担当 ☎550-1551

木造住宅の耐震診断および耐震改修などの工事をする方に補助金を交付します

市では、木造住宅の耐震診断および耐震改修などの工事をする方に補助金を交付しています。

- ▶対象 昭和56年5月31日以前に着工した一戸建ての住宅および兼用住宅
- ▶補助金額 ①耐震診断：診断費用の2分の1(上限5万円)
②耐震改修工事：耐震工事費用の23パーセント(上限20万円)
③簡易耐震改修工事(耐震シェルターや防災ベッドを設置する工事)：改修工事費用の2分の1(上限10万円)
- ▶その他 詳細を建築開発課または市ホームページで確認の上、申請してください。なお、申請は診断または改修工事を行う前にする必要があります。
- ▶問い合わせ 同課建築指導担当 ☎550-1551

大雨対策にご協力ください

これから台風が多く発生するなど、大雨のシーズンを迎えます。大雨が降った際、円滑に雨水が浸透・排水できるように、日頃から浸透ますなどの点検・清掃をしておきましょう。

自宅や事業所の敷地内には、雨水を土中に浸透させるためのますが設置されていることがあります。ふたを開け、ごみや土砂の詰まりがないか確認しましょう。

また、道路上の側溝は皆さんの協力により維持管理を行っています。側溝内の土砂などを撤去された場合には、市で回収を行いますので、道路治水課にご連絡ください。

- ▶問い合わせ 同課維持補修担当 ☎550-1553

6月20日～7月19日は「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施期間です

大麻、覚せい剤、麻薬、危険ドラッグなどの薬物乱用が深刻な社会問題となっています。これらの薬物を乱用すると、自分の意思では止めることが難しくなってしまう、自分の体や心をむしばむだけでなく、家族や周りの人々にも大きな影響を与えます。

薬物乱用防止の正しい知識を身に付け、薬物乱用から自分自身を守りましょう。

- ▶問い合わせ 加須保健所 ☎0480-61-1216

ブロック塀などの安全点検をお願いします

市では、自身でブロック塀などの内部の鉄筋の有無を探查することができる鉄筋探查機を無料で貸し出しています(要予約)。また、ブロック塀などの点検を簡単に行える点検票を建築開発課で配布(市ホームページからダウンロード可)していますので、ご活用ください。

点検の結果、危険性が確認された場合は、通行者への注意喚起を行うとともに、専門家(一般社団法人埼玉建築士会 ☎048-861-8221 または一般社団法人埼玉県建築士事務所協会 ☎048-864-9313)に相談するなど、速やかに安全を確保するための対応をお願いします。

- ▶問い合わせ 同課建築指導担当 ☎550-1551

危険なブロック塀などの解体工事をする方に補助金を交付します

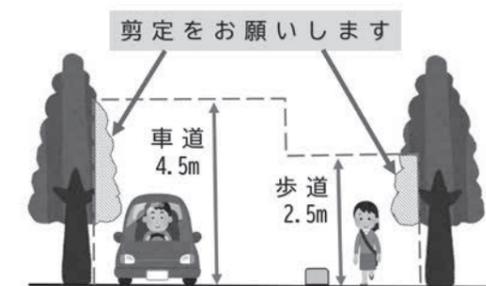
市では、7月1日(火)から危険なブロック塀などの解体工事をする方に補助金を交付します。

- ▶対象 倒壊による通行者への危険性がある公衆用道路に面した塀など
- ▶補助金額 解体費用の2分の1(1平方メートル当たり5,000円で上限10万円)
- ▶その他 詳細を建築開発課または市ホームページで確認の上、申請してください。なお、申請は解体工事を行う前にする必要があります。
- ▶問い合わせ 同課建築指導担当 ☎550-1551

道路にはみ出た樹木などは適正に管理しましょう

私有地から車道や歩道に樹木や草がはみ出ていると、歩行者や自動車の通行に支障をきたし、事故の原因となる可能性があります。大変危険です。

はみ出た樹木などが原因で事故につながった場合、所有者に損害賠償が発生する場合があります。安心して道路を利用することができるよう、樹木の剪定や伐採などを行い、適正な管理をしましょう。



- ▶問い合わせ 管理課(内線5703)

空き家の可能性を見える化しませんか

市では、株式会社リノバンクと空き家関連事業の連携協定を締結し、空き家の利活用を推進し、地域の活性化の創出に繋げる取り組みを実施しています。

今年度も、同社の知見や技術などを活用して希望される方に空き家の現地調査・査定業務を行います。空き家の現存価値や解体費用の査定などを行いますので、当該調査などを希望される方は建築開発課で申し込み(先着順)してください。

- ▶対象物件 市内に所在する空き家または空き家になる見込みの物件で、当該物件に対し申請者が所有権などの権利を有していること
- ▶申込方法 7月1日(火)～31日(木)に二次元コードを読み取り必要事項を記入の上、申し込んでください。
- ▶その他 市が物件を購入したり、利活用したりするものではありません。また、調査対象になった方にのみご連絡します。
- ▶問い合わせ 同課空き家対策担当 ☎550-1551



電子申請・届出サービス

行田市空き家利活用補助金を交付します

市では、空き家を地域の交流拠点などに利活用するための改修工事を行う方に補助金を交付しています。

- ▶対象 昭和56年6月1日以後に着工した空き家などで、次の全ての要件を満たすもの
 - ・市内事業者が施工を行うこと
 - ・改修後5年間または10年間継続して利活用すること
- ▶その他 詳細を建築開発課または市ホームページで確認の上、事前にご相談ください。【事前相談の受付期間】8月29日(金)まで
- ▶問い合わせ 同課空き家対策担当 ☎550-1551

空き家に関する冊子を無料配布しています

有限会社サイシン広告から、空き家に関する情報をまとめた冊子の寄贈を受けました。適切な管理の促進や相続登記に関すること、空き家にしないための事前対策など、多様な内容が盛り込まれています。

ご希望の方には市役所や建築開発課(水道庁舎内2階)、公民館などで無料配布していますので、ぜひご活用ください。

- ▶問い合わせ 同課空き家担当 ☎550-1551

乗合型AIオンデマンド交通に乗車する高齢者の付添人の運賃(案)について意見を募集します

「うきしろ号」に75歳以上の高齢者の付添人が同乗する場合の運賃(案)について、市民の皆さんから広く意見を募集します。

▶**募集期間** 6月23日(月)～7月21日(月)

▶**閲覧場所** 交通政策課、市政情報コーナー、南河原支所、市ホームページ

▶**意見の提出が可能な方**

- (1) 市内在住の方
- (2) 市内で事業を行っている方または団体など
- (3) 市内在勤・在学の方
- (4) 市に対して納税義務を有する方または団体など
- (5) 本案に利害関係を有する方または団体など

▶**提出方法** 前項のうち該当する番号(1)～(5)と、個人の場合は住所、氏名、電話番号を、法人など団体の場合は事務所の所在地、名称、代表者の氏名、電話番号を明記の上(様式自由)、持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。

【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市交通政策課

【FAX】556-2117

【Eメール】koutsu@city.gyoda.lg.jp

▶**その他**

- 電話や口頭での受け付けは行いません。
- 個別の回答は行いません。
- 個人を特定できないように編集し、概要を市ホームページで公表します。

▶**問い合わせ** 同課地域交通担当(内線284)

教育支援センターからのお知らせ

お子さんの発達の悩みをご相談ください

教育支援センターでは、早期療育事業「ステップ教室」を開設し、子どもたちへの療育に当たっています。利用された保護者の皆さんからは「落ち着いて話が聞けるようになってきた」「友達と上手に話ができるようになってきた」などの感想が寄せられています。

専門的な知識を持つ療育指導員が、発達の特性が気になるお子さんの個別療育や家庭での子育てについてアドバイスを行います。発達や子育てでお悩みのことがありましたら、まずは電話でご相談ください。

▶**受付時間** 午前8時30分～午後5時(土・日曜日、祝日などを除く)

▶**対象** 年長児から小学1年生までの子どもとその保護者

ひとりがかかえこまないでそだんホットライン開設中

「いじめ・不登校」「ヤングケアラー」など、あなたがつらいと感じていたら、すぐに「そだんホットライン」をご利用ください。お子さんだけでなく、保護者からの相談もお受けします。

▶**電話番号** 0120-279-874

▶**受付時間** 午前8時30分～午後6時(土・日曜日、祝日などを除く)

▶**Eメール相談アドレス** yuuki@city.gyoda.lg.jp

▶**対象** 小・中学生およびその保護者など

▶**問い合わせ** 同センター ☎556-6458

猫を飼っている方へのお願い

猫はペットとして多くの方に飼われており、私たちにとって身近な動物です。飼い主は、家族の一員として愛情を持って接するとともに、地域社会で共生するためにも、最後まで責任を持って飼いましょう。

室内で飼いましょう

屋外での飼養は、近所の迷惑になるだけでなく、交通事故や感染症などの危険がたくさんあります。猫の安全を守るため、家の中で飼うようにしましょう。

トイレのしつけをしましょう

猫のふんや尿はとても臭います。外で自由にさせておくと、トラブルの原因となる場合があります。子猫のうちからきちんとしつけをして、室内のトイレを使うようにしましょう。



不妊・去勢手術をしましょう

猫は非常に繁殖力が強い動物です。子猫を望まない場合は、不妊・去勢手術を行いましょう。不妊・去勢手術をすると、発情期の異様な鳴き声や、他の猫とのけんかなどを減らすことができます。

身元表示をしましょう

飼い主のいない猫と区別をするために、首輪やマイクロチップなどを身に付けて身元表示をしましょう。飼い主の責任をはっきりさせて自覚を持つことにもつながります。

猫についての相談

猫の飼い方やしつけについての相談は、埼玉県動物指導センター(熊谷市板井123 ☎536-2465)で行っています。

▶**問い合わせ** 環境課 ☎556-9530

特定健康診査・後期高齢者健康診査が始まります

生活習慣病は、自覚症状なく進行し、脳梗塞や心筋梗塞などを突然発症して重篤になることもあります。今年度から個別か集団かを選べるようになりました。年1回の健診で自分の身体を知り、健康寿命を延ばしましょう。

▶**受診期間** 6月2日(月)～令和8年2月28日(土)

▶**対象**

健診名	対象	自己負担額
特定健康診査	令和7年4月1日までに市国民健康保険の加入手続きをされた40～74歳の方	無料
後期高齢者健康診査	埼玉県後期高齢者医療制度にご加入の方	無料

※健診の結果に応じて医師により治療が必要と判断された場合、治療に掛かる費用は自己負担となります。

▶**場所・申し込み**

	個別の場合	集団の場合
場所	市内指定医療機関	埼玉公民館、産業文化会館、総合福祉会館「やすらぎの里」 総合体育館(グリーンアリーナ)
申し込み	市内指定医療機関へ直接予約	健診予約ダイヤルへ電話またはWEBで申し込み ※予約受付開始は6月9日(月)からです。

※詳しくは、受診券に同封するパンフレットまたは市ホームページをご確認ください。なお、受診券が届かない場合や、令和7年4月2日以降に行田市国民健康保険に加入手続きをした方で特定健診の受診を希望される方は、健康課へご連絡ください。

▶**その他**

- 特定健康診査・後期高齢者健康診査と市の助成を受ける人間ドック(併診ドック)の両方を受検することはできません。
- 特定健康診査は75歳の誕生日の前日までしか受診できません。今年度内に75歳になる方は、75歳の誕生日以降は後期高齢者健康診査を受診してください。

▶**問い合わせ** 同課保健事業担当(内線361～364)

生活習慣病重症化予防対策に基づく「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」を実施します

市では、国民健康保険に加入されている方を対象に医療機関受診状況(レセプトデータ)や特定健康診査の結果などから生活習慣病の重症化を予防するため、糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施しています。

対象者には案内を送付していますので、ぜひご活用ください。なお、この事業は埼玉県と埼玉県国民健康保険団体連合会の共同で委託事業として実施しています。

保健指導(委託先：株式会社ベネフィット・ワン)

▶**対象** 現在糖尿病で治療中の方

▶**内容** 食事や運動など生活習慣を改善するための相談支援

保健指導継続プログラム(委託先：株式会社ベネフィット・ワン)

▶**対象** 令和4～6年度に本事業の6カ月間の保健指導プログラムを修了された方

▶**内容** 引き続き生活改善の相談支援を実施

▶**その他** 対象者には委託先である株式会社ベネフィット・ワンから電話による参加のご案内(☎0120-200-625)を実施します。

受診案内(委託先：日本システム技術株式会社)

▶**対象** 糖尿病の治療が必要な方や治療を中断されている方

▶**内容** 医療機関への受診案内を送付

▶**その他** 受診案内が届いた方にはサポートセンター(フリーダイヤル：0120-250-092)を開設していますので、ご活用ください。

▶**問い合わせ** 健康課保健事業担当(内線361)

6月23～29日の男女共同参画週間に「統計に見る女性の『仕事』と『生活』のいま」パネル展示を行います

- ▶日 時 6月24日(火)～29日(日)午前9時～午後5時
- ▶場 所 VIVAぎょうだ2階
- ▶内 容 「仕事」と「生活」に関する全国と埼玉県の特徴を男女共同参画の視点から、グラフやイラストなどのパネルで紹介します。
- ▶問い合わせ VIVAぎょうだ ☎556—9301

教科書展示会を開催します

埼玉県では、小・中学校などで使用している教科書を展示します。どなたでもご覧になれますので、ぜひ会場に足を運んでください。

- ▶日 時 6月10日(火)～7月3日(木)午前9時～午後6時(日曜日を除く、土曜日は午後5時まで)
- ▶場 所 埼玉県立総合教育センター(富士見町2—24)
- ▶展示教科書 現行教科書(小・中学校、高等学校、特別支援学校)
- ▶問い合わせ 同センター ☎556—3487

戦後80年第35回テーマ展「戦時下の行田」

今年は終戦を迎えて80年の節目の年に当たります。市内においても戦争を経験した方々が高齢となり、直接戦時中の体験を聞く機会も年々少なくなりつつあります。郷土博物館では、現在までに市民の方々からさまざまな戦争に関わる資料や写真を収集・保管し、展示を行ってきました。

本展示会では、戦後80年に当たり、これまでに寄贈を受けた戦争に関わる資料や写真などを展示、公開します。戦時下に生きてきた人々の暮らしや想いを伝え、戦争の悲惨さと平和の尊さを考え、次世代に語り継いでいくため、戦時下の行田の様子について紹介します。

- ▶期 間 7月5日(土)～8月31日(日)
- ▶会期中の休館日 7月21日および8月11日以外の月曜日、7月22日(火)
- ▶開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- ▶場 所 郷土博物館企画展示室
- ▶入 館 料 【大人】200円【大学・高校生】100円【小・中学生】50円 ※団体割引あり



遺品として残された海軍の帽子(郷土博物館所蔵)



慰問品を配る愛国婦人会・国防婦人会忍町分会(郷土博物館所蔵)

「日本遺産 御周印」巡りを始めませんか

全国の日本遺産地域を巡って押印できる「日本遺産 御周印」が4月から本格始動しました。行田市の御周印は「足袋隆盛」です。専用の「御周印帳」を販売していますので、ぜひ「足袋蔵のまち」から全国104カ所の日本遺産巡りを始めてみましょう。

- ▶時 間 午前10時～午後4時※年末年始、お盆休み期間は休館
- ▶場 所 日本遺産ガイダンスセンター(足袋蔵まちづくりミュージアム)(行田5—15)
- ▶費 用 押印手数料 1回300円 御周印帳 1冊2,000円
- ▶主 催 公益社団法人日本観光振興協会、行田市日本遺産推進協議会
- ▶そ の 他 専用の「日本遺産御周印帳」にのみ押印可能。詳しくは、市ホームページをご確認ください。
- ▶問い合わせ 同推進協議会(文化財保護課内) ☎553—3581



市ホームページ

テーマ展公開講演会・平和月間関連事業「伝えたい記憶、つなげたい未来」

- ▶日 時 8月3日(日)午後1時30分～3時30分
- ▶場 所 同館講座室
- ▶内 容 【第1部】「伝えたい記憶—行田で体験した戦争の時代—」
【第2部】「つなげたい未来—平和へのまなざし—」
- ▶講 師 【第1部】高城三郎さん(元行田女子高等学校教諭)
【第2部】濱中紀子さん(日本原水爆被害者団体協議会事務局長)
- ▶定 員 80人(先着順)
- ▶申し込み 6月14日(土)午前9時から行田市電子申請・届出サービスまたは電話で同館



電子申請・届出サービス

学芸員による展示解説会

- ▶日 時 7月20日(日)、26日(土)、8月9日(土)、23日(土)午後2時～2時30分※いずれも同内容
- ▶場 所 同館企画展示室
- ▶そ の 他 事前申し込みは不要

サマーシアター「最後の空襲 熊谷」(アニメーション・29分)

- 昔の16ミリフィルム映写機で映画を上映します。
- ▶日 時 8月10日(日)①午前11時～11時30分 ②午後2時30分～3時※いずれも同内容
- ▶場 所 同館講座室
- ▶そ の 他 事前申し込みは不要
- ▶問い合わせ 同館 ☎554—5911

行田市景観審議会の委員を募集します

市では、令和7年5月1日から景観行政団体となり、行田らしい良好な景観形成の実現に向けて、行田市景観審議会を新たに設置します。

このたび、景観条例、景観計画に定められた事項や良好な景観形成に関する施策などについて、調査や審議を行い、良好な景観形成を推進していくため、行田市景観審議会の委員を募集します。

- ▶応募資格 次の要件を全て満たす方
 - ・満18歳以上の市内に在住または在勤している方
 - ・平日昼間に開催する会議に出席できる方
 - ・応募日現在、本市の他の附属機関の委員の職にない方
 - ・市職員および市議会議員でない方
- ▶募集人数 1人
- ▶任 期 委嘱した日から2年
- ▶応募方法 住所、氏名、年齢、職業、電話番号、市の都市計画や景観形成に関する考えなど(400字程度)を記載した書類(様式自由)を、6月24日(火)(必着)までに持参、郵送またはEメールのいずれかの方法により提出してください。
【持参・郵送】〒361—0038 行田市前谷1—1 行田市都市計画課
【Eメール】toshi@city.gyoda.lg.jp
- ▶選考方法 書類選考の上決定し、結果は応募者全員に通知します。
- ▶そ の 他 提出された書類は返却しません。
- ▶問い合わせ 同課計画担当 ☎550—1550

納期のお知らせ(6月分)

納付書や口座振替で納めていただく方(普通徴収)
市県民税・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1期
納期限 6月30日(月)

- ・市税などの納付には、「安心! 確実! 便利!」な口座振替をご利用ください。
- ・納付の相談は随時窓口で実施しています。
- ▶問い合わせ 収納課(内線236・237)

年金からあらかじめ差し引かれる方(特別徴収)

- 6月支給の年金から差し引きます。
- ①市県民税
- ②国民健康保険税
- ③介護保険料
- ④後期高齢者医療保険料
- ▶問い合わせ ①税務課(内線231) ②健康課(内線271) ③高齢者福祉課(内線277) ④健康課(内線227)

行田市都市計画審議会の委員を募集します

市では、都市計画の円滑な推進を図るため、行田市都市計画審議会を設置しています。この審議会は、土地の利用や建物の建て方のルール、道路や公園などのまちづくりに関する事項について、調査審議を行う機関です。このたび、委員の任期満了に伴い委員を募集します。

- ▶応募資格 次の要件を全て満たす方
 - ・満18歳以上で本市に住民登録して1年以上在住している方
 - ・平日昼間に開催する会議に出席できる方
 - ・応募日現在、本市の他の附属機関の委員の職にない方
 - ・市職員および市議会議員でない方
- ▶募集人数 2人
- ▶任 期 8月11日～令和9年8月10日(予定)
- ▶応募方法 住所、氏名、年齢、職業、電話番号、市の都市計画に関する考えなど(800字程度)を記載した書類(様式自由)を、6月24日(火)(必着)までに持参または郵送で提出してください。
【持参・郵送】〒361—0038 行田市前谷1—1 行田市都市計画課
- ▶選考方法 書類選考の上決定し、結果は応募者全員に通知します。
- ▶そ の 他 提出された書類は返却しません。
- ▶問い合わせ 同課計画担当 ☎550—1550

固定資産税に関するお知らせ

固定資産税に関する家屋実地調査にご協力を

市では現在、家屋の新築・増築および取り壊し調査を行っています。調査には、職員が2人1組で伺いますのでご協力をお願いします。

なお、職員は「職員証」を携帯しています。「職員証」の提示がないなど不審に感じた場合は、税務課までご連絡ください。

家屋を取り壊したら届け出を

家屋を取り壊した場合には、「家屋取壊届出書」を税務課へ提出してください。また、登記してある家屋については、法務局で滅失登記の手続きを済ませてください。これらの手続きが行われない場合には、税務課で家屋の取り壊しが確認できないことがあります。

「家屋取壊届出書」は税務課で配布する他、市ホームページからダウンロードできます。また、行田市電子申請・届出サービスから届け出することもできますので、ご利用ください。

- ▶問い合わせ 同課資産税担当(内線234)

義務教育
学校って
なに？

第5回 行田ならではの特色ある学校2

市報5月号では、本市が目指す特色ある教育として「外国語」（特に英語学習）について紹介しました。今月は、このテーマの第2弾として「ふるさと学習」を取り上げます。

本市には、忍城址をはじめ、埼玉古墳群、足袋蔵など古代から近代までをつなぐ歴史的資産が数多く点在しています。また、古代蓮や水城公園、利根川など、豊かな自然環境にも恵まれています。これまではこうした教育資源を活用しながら、各校でふるさと行田や地域についての知識を深めてきましたが、行田の抱える課題などを探求的に学び、発表する機会などは十分とは言えませんでした。

そこで、今後実践していく「ふるさと学習」では、ふるさと行田や地域の知識を深めていくとともに、行田の抱える課題などに対して協働的な課題解決学習を実施し、子どもたちが持つ潜在的なスキルを伸ばします。

例えば、行田の観光資源や産業構造、交通の在り方、人口構成などについて、子どもたちの興味



関心に応じた課題を設定し、RESAS（地域経済分析システム）なども活用しながら、仲間同士で活発に意見を交わし、解決に向けた学習を進めていきます。

また、このような学習活動は校内だけにとどまりません。デジタル技術を活用して市内外の学校間で交流を図るとともに、9年間の集大成として市政へ提言する機会などを設けていきたいと考えています。

こうした学びのプロセスを通じて、市民としてのアイデンティティーを確立するとともに、多様な観点から行田を考察できる力を高めていきます。

本市では、子どもたちの学びの場として、魅力ある義務教育学校を設置し、より良い学校教育の充実に向けて取り組んでいきます。

▶問い合わせ 教育総務課学籍・学校再編担当
(内線 5307)

各種相談 (6月15日～7月14日)

相談	場所	期日	時間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館 2階会議室	6月24日(火)	予約は6月2日(月)から 午前9時30分～正午	地域活動推進課 (内線252)
		7月10日(休)	予約は6月16日(月)から 午後1時30分～4時	
行政機関に対する 意見・要望	産業文化会館 2階会議室	6月16日(月)、7月14日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活 多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～正午 午後1時～3時30分	消費生活センター (内線495)
相続、遺言、離婚、 日常生活の困り事	VIVAぎょうだ	7月9日(木)※予約制	午後1時～4時	埼玉県行政書士会埼玉 支部☎564-0104
夫婦関係・DVなど (予約制) ※女性相談員対応	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※土曜日は市内在住の方を対象に電話相談 も受け付けます。	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
人権	地域交流センター	7月9日(木)	午後1時30分～3時30分	人権・男女共同参画 推進課(内線221)
税務(予約制)	関東信越税理 士会行田支部 (市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く)※予約受け付け は毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の 午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会 行田支部 ☎554-1411
夜間の納付相談	市役所	毎週火曜日(祝日を除く)	午後5時15分～7時	収納課(内線236・237)
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	6月24日(火)、7月1日(火)	午後5時15分～7時	水道課☎553-0131

※一部の相談についてはメールでの問い合わせもできます。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



ホテル観賞会

- ▶日時 6月7日(土)・8日(日)午後7時30分～9時
- ▶場所 古代蓮の里ホテルの川
- ▶内容 古代蓮の里ホテルの会の会員が、ホテルの飛び交う様子などを案内します。
- ▶注意
 - ・ホテルは人工の光を嫌うため、カメラや懐中電灯・スマートフォンの光を向けないでください。
 - ・ホテルを捕ららないでください。
 - ・足元にご注意ください。
 - ・駐車場は北側駐車場をご利用ください。
- ▶その他 観賞会以外の日でも、6月末まで晴れた風のない日の午後7時30分から9時ごろまで、ホテルを見ることが出来ます。
- ▶問い合わせ 都市計画課公園担当☎550-1550

「さいたまけん★こどものこえ」
メンバー募集

埼玉県では、子どもの皆さんの声を聞き、施策に反映させるため、「さいたまけん★こどものこえ」のメンバーを募集します。

- ▶募集期間 6月1日(日)～7月31日(休)
- ▶対象 小学生・中学生・高校生相当年齢および未就学児・登録した小学生・中学生・高校生相当年齢の保護者
- ▶内容 県政などに関するWEBアンケートの回答
- ▶特典 回答回数に応じてAmazonギフトカード最大1,000円分(小学生は図書カード)※抽選で追加プレゼントあり
- ▶申し込み 埼玉県ホームページを確認の上、直接お申し込みください。
- ▶問い合わせ 埼玉県子ども政策課こどもまんなか担当
☎048-830-3343



県ホームページ

第75回“社会を明るくする運動”
行田地区大会を開催します

- ▶日時 7月5日(土)午後1時20分～4時
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶内容 【第1部】大会セレモニー
【第2部】中山稔さん(埼玉県暴力追放薬物乱用防止センター会員)による講演「刑余者の就労支援と今後の課題について～受刑者たちの明るい未来を～」、女声合唱団「きらめき」による合唱
- ▶入場料 無料
- ▶主催 “社会を明るくする運動”行田地区推進委員会
- ▶その他 午前10時～正午に中央公民館第3学習室で、保護司会・更生保護女性会が犯罪や非行に関する相談を受け付けます。
- ▶問い合わせ 地域共生社会推進課地域福祉担当(内線354)

埼玉県内市町村職員採用合同説明会および
オンライン相談会を開催します

彩の国さいたまづくり広域連合では、より多くの方に市町村職員採用試験などを受験してもらうことを目的に「埼玉県内市町村職員採用合同説明会」および「オンライン相談会」を開催します。

【合同説明会】市町村ごとに設置するブースで、市町村の特色や仕事の内容、職員の募集内容などを、気になる市町村の採用担当者などから直接聞くことができます。
※本市はブースを設置しません。
【オンライン相談会】各団体の採用担当者などとのオンライン相談会(ZOOM)を実施します。

- ▶日時 【合同説明会】7月14日(月)午後1時～6時
【オンライン相談会】6月中旬から
- ▶場所 【合同説明会】さいたまスーパーアリーナ(さいたま市中央区) 【オンライン相談会】広域連合ホームページ[SAITAMA市町村職員採用NAVI(採用ナビ)]
- ▶問い合わせ 同広域連合人材開発グループ市町村職員担当☎048-664-6684



広域連合ホームページ

▼問い合わせ
9530
環境課☎556-1

さしあげます

▷ひな壇(3段) ▷剣道の防具 ▷子ども用歩行者 ▷子ども用まめ椅子
▷子ども用テーブル付きハイチェア ▷座卓 ▷自転車 ▷猫用トイレ(蓋付き) ▷ペットカート ▷ペット用トイレ

ゆずってください

▷DVDプレーヤー ▷テレビ ▷テーブル付きミシン ▷ミシン ▷猫用ケージ ▷ソファ(2人掛け) ▷三輪車(子ども用) ▷棚(3段) ▷ソファ(3人掛け) ▷ノートパソコン ▷冷蔵庫 ▷ガーデンシンク(硬質) ▷食器棚 ▷ビニールプール ▷ロックミシン ▷プレイステーション2

不用品情報(無料)

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制となりますので、紹介後は、本人同士で話し合いの上、無償で品物の受け渡しを行ってください。なお、登録期間は3カ月です。

男性へのHPVワクチン接種費用の一部を助成します

男性がHPVワクチンを接種することによりHPVの感染を予防し、自身のHPV関連のがんなどを防ぐだけでなく、パートナーの健康と命を守ることができます。

任意接種であるHPVワクチンは接種を希望する方と接種医との相談により行われるものです。予防接種による効果や副反応について十分理解した上で接種の判断をしてください。

実施医療機関(要予約)

医療機関名	電話番号
行田総合病院	554-0005
行田中央総合病院	553-3360
さかつめ内科医院	553-5202
たけうち呼吸と内科のクリニック	553-7700
なすクリニック	550-4000
松原医院	553-6700
南川げんきクリニック	554-8835
やまかわ内科クリニック	564-1488

対象 小学6年生～高校1年生相当の男性で、接種日時時点で市内に住民登録がある方
助成額 接種に要した費用(上限16,650円)
助成回数 3回
接種ワクチン 4価HPVワクチン(ガーダシル)
持ち物 母子健康手帳など接種記録を確認できる書類の写し、接種の支払いを証明できる書類(領収書、明細書など)の原本、本人確認書類、振込先金融機関などが分かるものの写し
申し込み 希望する医療機関に予約の上、接種し、費用を支払い後、6カ月以内に申請してください。
問い合わせ こども家庭センター ☎579-8033

〈健康づくりチャレンジポイント認定講座〉 続けるからこそ意味がある！筋力アップ講座

日時 6月25日(水)午後2時～4時(午後1時45分から受け付け)
場所 行田グリーンアリーナ柔道場
内容 自宅で簡単かつ継続的に取り組める運動について、実技を交えながら学ぶ。
対象 市内在住の方
定員 30人(先着順)
参加費 無料
持ち物 筆記用具、室内用運動靴、飲み物、タオル
申し込み・問い合わせ 行田市電子申請・届出サービスで入力の上、送信するか、直接または電話で健康課(内線362)



電子申請・届出サービス

8020よい歯のコンクール

歯は、食べることを通じて健康づくりに重要な役割を果たすとともに、生活全般を楽しむためにとても大切なものです。長年にわたり健康な歯を維持している方を対象に「8020よい歯のコンクール」を開催します。

日時 7月24日(水)※詳細な時間は個別に通知します。
場所 保健センター
対象 次の全ての要件に該当する方
 ・市内在住で80歳以上の方(令和7年4月1日現在)
 ・自分の歯が20本以上(治療済みの方も可)ある方で健康な方
 ・今までに当コンクールで表彰経験のない方
主催 北埼玉歯科医師会
申し込み・問い合わせ 7月11日(金)までに直接または電話で健康課(内線362)

多胎妊婦健康診査費助成事業を始めました

胎児の健やかな発育と多胎妊婦の健康保持・増進、経済的負担の軽減を目的として、妊婦健康診査を15回以上受診した際に要した費用の一部を助成します。

対象 妊婦健康診査の受診日時時点で、市内に住民登録のある多胎妊婦の方
助成額 15回目以降の受診に要した費用(1回につき上限5,000円)
助成回数 5回
持ち物 母子健康手帳、医療機関が発行した多胎妊婦健康診査に要した費用の領収書(原本)および診療明細書、振込先金融機関などが分かるものの写し
問い合わせ こども家庭センター ☎579-8033



市ホームページ

親子の歯科健診・ママパパ歯科健診

日時 6月26日(木)午前9時～10時45分(15分ごとの予約制)
場所 保健センター
内容 歯科健診、位相差顕微鏡による口腔内細菌の確認(希望者のみ)
対象 市内在住でいずれかに該当する方
 ・就学前のお子さんとその保護者(健診は保護者のみでも可)
 ・妊婦とその家族
 ※同一年度内1回の受診
定員 30人(先着順)
参加費 無料
持ち物 乳幼児と妊婦の方は母子健康手帳
申し込み・問い合わせ 6月20日(金)までに直接または電話でこども家庭センター ☎579-8033

子どもの健康

赤ちゃんクラス(申し込み不要)

日時 6月13日(金)午前9時30分～11時
内容 お子さんの体重測定や育児相談
対象 4カ月未満のお子さんとその保護者

離乳食(初期)教室(要申し込み)

日時 6月17日(水)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 4～6カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

離乳食(中期)教室(要申し込み)

日時 6月18日(木)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 7～8カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

乳幼児相談(要申し込み)

日時 6月20日(金)午前9時30分～11時30分
対象 就学前のお子さんとその保護者

乳幼児健診など

4カ月児健診は、赤ちゃん訪問時にお知らせします。離乳食(初期)教室、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診については、対象者に通知します。転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方はこども家庭センターにご連絡ください。

問い合わせ 同センター ☎579-8033



おとなの健康

健康相談(要申し込み)

日時 6月30日(月)
 ※時間は申し込みの際にお知らせします。
場所 産業文化会館3A会議室
内容 保健師、管理栄養士、歯科衛生士による食事、生活習慣、歯の健康などについての相談

こころの相談(要申し込み)

日時 6月18日(水)
 ※時間は申し込みの際にお知らせします。
場所 保健センター
内容 精神科医師、保健師による相談

問い合わせ 健康課(内線361・363)

みんなの保健室

子どもの健康についての問い合わせ
 こども家庭センター(保健センター内)
 長野2-3-17 TEL:579-8033

おとなの健康についての問い合わせ
 健康課(市役所4番窓口)
 本丸2-5 TEL:556-1111
 (内線361～364)

休日急患診療

休日や祝日の急な病気やけがのときは次の医療機関をご利用ください。

期日	医療機関名	電話番号
6月15日(日)	社幸会行田総合病院	552-1111
6月22日(日)	社幸会行田総合病院	552-1111
6月29日(日)	社幸会行田総合病院	552-1111
7月6日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
7月13日(日)	社幸会行田総合病院	552-1111

診療時間 午前10時～午後5時
診療科目 内科、小児科、外科
 ※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせてください。

#7119(365日24時間対応)

病院に連れて行こうか迷ったときや受診できる医療機関を知りたいときの全国共通ダイヤルです。また、埼玉県では、「埼玉県AI救急相談」を実施しています。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/aikyukyuu.html>

在宅医療窓口

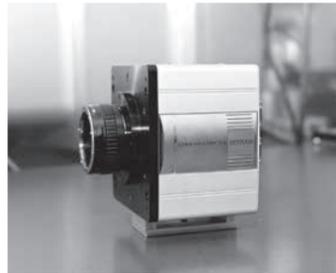
「病気があがるが、足が不自由で通院できない」「寝たきりの家族がいて床ずれが心配」などの相談があるとき
 ・行田市在宅医療・介護連携支援センター ☎553-2003
 ・相談時間 午前9時～午後5時
 ※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

「歯科医院への通院が困難」「訪問歯科診療を行っている歯科医院が知りたい」などの相談があるとき
 ・在宅歯科医療推進窓口 ☎080-1391-8020
 ・相談時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く) ※土・日曜日、祝日、年末年始を除く



ビットラン株式会社

ニッチなニーズに特化した技術力



私たちが市販のカメラで漆黒の宇宙に光り輝く星や色鮮やかな星雲などを撮影しようとしてもうまく撮影することはできません。今月は、そんな美しい天体を撮影することのできるカメラを開発・製造しているビットラン株式会社をご紹介します。

同社は昭和52(1977)年に企業などから特定のシステムやソフトウェアの開発を受託する会社として創業しました。その後、コンピュータを開発する際に使用するデバッグツール(電子基板で試験を行う不具合を見つけるツール)の開発・販売を行っていましたが、各メーカーなどの安価なデバッグツールの普及に伴い事業を縮小。電子機器へのノウハウを生かして、平成7(1995)年から新たに天体用カメラの開発・製造へと事業を拡大しました。

同社が開発・製造するカメラはイメージセンサーを冷却してノイズを低減することで、天体撮影や科学研究などの長時間露光が必要な分野でもきれいに撮影することができると好評です。代表取締役の松岡さんによると「ニッチ・狭い分野や隙間の意(よ)な事業なので、競合がいなく、市場が小さい」とのことしかしながら、こうした同社の高い技術

力で作られるカメラが天文学や科学研究などを陰から支えています。

また、社員7人と少数精鋭の技術者集団で、迅速な判断と対応の他、機器の開発や実験などもスピーディーに行うことができ、顧客からのニーズに柔軟に対応しています。こうした同社の対応力や技術力が評価され、現在は東京大学理学系研究科天文教育研究センターが進めているTAO計画(赤外線望遠鏡をチリに建設)にも携っています。この計画は銀河宇宙の起源や惑星物質の起源を探るもので、その調査・研究に同社の天体用カメラが使用されるそうです。さらに、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が進めるスペースデブリ(宇宙ゴミ)の観測にも同社のカメラが使用される予定です。

今後の目標について、松岡さんは「今までの事業を継続していきたいながらも、広く浅い分野ではなく、ニッチで深く深い分野に力を入れていきたい」と語ってくれました。同社は顧客第一の精神の下、限られたニーズの中で社員の持つ技術力を生かした優れた製品を開発、提供し、これからも新たな科学の発見を陰から支え続けていきます。

会社プロフィール

代表取締役 **松岡 利明**

【事業内容】 冷却カメラシステム、マイクロプロセッサ開発支援装置、電子応用機器の開発・製造および販売

【所在地】 持田 2213

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課(内線318)までお寄せください。

来て! 見て!

図書館

開館時間
午前9時～午後7時

休館日
6月 2日(月)・3日(火)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)・7月 1日(火)・7日(月)・14日(月)

※休館日の図書館の返却はブックポストをご利用ください。

●市立図書館●
佐間3-24-7(「みらい」内)

TEL:556-4227
FAX:555-3770

第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書の出し出しを一部制限します

夏休みは課題図書の利用が多くなります。より多くの方に利用していただくため、次の期間は課題図書の出し出しを制限します。

なお、小学校の部の課題図書は貸し出し用の他、館内閲覧用として特集コーナーに展示します。

- ▶期間 8月31日(日)まで
- ▶対象 第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書
- ▶貸出期間 原則1週間

令和7年度 読み聞かせボランティア養成講座(科学絵本をたのしもう)

- ▶日時 7月12日・19日の各土曜日午前10時～正午
- ▶場所 中央公民館第2学習室
- ▶内容 科学絵本を中心に実践を交えながら読み聞かせについて学ぶ。
- ▶講師 小野寺り子さん(おはなしボランティア指導者)
- ▶対象 次の全てに該当する方
 - ・ボランティア活動を希望する方
 - ・2日間の講座に参加可能な方
- ▶定員 10人程度(先着順)
- ▶申し込み 6月24日(火)～7月4日(金)に行田市電子申請・届出サービス、直接、電話のいずれかの方法により図書館



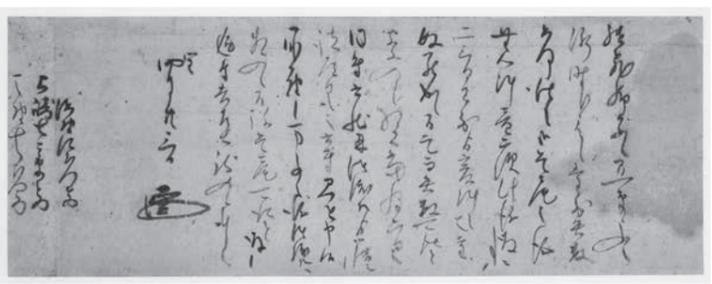
電子申請・届出サービス

雑誌リサイクル市を開催します

- ▶日時 6月28日(土)～29日(日)午前9時～正午
- ▶場所 「みらい」 談話コーナー
- ▶内容 保存期間(2年間)が経過した雑誌を1冊50円で販売します。
- ▶その他
 - ・雑誌を持ち帰る袋をご用意ください。
 - ・支払いは現金のみ
 - ・申し込み不要

行田歴史系 375

忍藩弓術師範・海野景充と阿部正能の絆



海野仁左衛門(景充)に通し矢の成績を尋ねる阿部正能の自筆書状(郷土博物館所蔵)

海野景充は信州真田庄を拠点にした真田一族として勢力をもった幸隆の弟・海野能登守幸景を祖先に持つと伝わる日置流雪荷派弓術の使い手です。景充は江戸時代前半に当たる正保2(1645)年に忍藩主の阿部忠秋に召し抱えられ、阿部家臣団の弓術師範を務めました。

後に忠秋から家督を相続する正能は、青年期より景充から弓術の教えを受けています。ちょうどその頃に正能が景充に宛てた直筆の書状から両者の絆を紐解いてみましょう。

とある年のうるう4月23日に正能が景充に宛てた書状を見ると「ようやく実施された堂前(通し矢)の矢数はいかがであったか。首尾が気になって昼夜ともこのことばかりを考えている。後日、その首尾を聞かせてほしい」と書かれています。

通し矢(堂射・堂前)は、京都の蓮華王院(三十三間堂)の本堂西側の軒下(長さ約121メートル)を南から北に矢を射通す弓術の競技のことです。

景充は、正保2年に江戸浅草の三十三間堂、そして明暦2(1656)年うるう4月17日に京都の三十三間堂において、それぞれ通し矢に参加しています。諸条件を踏まえると、先の書状は、明暦2年に景充が参加した通し矢の直後に正能が出した書状と推定されます。

この書状で正能は、通し矢をやり遂げた景充に対し、気になって仕方がないので当日の矢数成績を尋ねています。年齢も比較的に近い両者が、次期藩主と藩士、そして弓術における弟子と師匠という強い絆で結ばれていたことが、直筆の書状からも伝わってきます。

(郷土博物館 澤村怜薫)

俳句壇

ぎょうだはいだん

俳句応募方法
一人3句以内。住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、はがきまたは封書で広報広聴課まで。※毎月末日必着

なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

厨房の朝は早し柿若葉

【句評】 朝早くから食事の用意をするために厨房に立つ。それは母であり、妻であり、あるいは本人であるかも知れない。いずれにしても用意をしてくる人がいるからだろう。一日がスタートするのである。窓の外には柿若葉が光彩を放っている。人間の営みと自然の息吹が一句の中で溶け合い清々しい気分をさせる一句である。

門井町 宮田 淑尚

終活の兄より届く春の服

【句評】 近年使われるようになった終活という一語はなんとかわびしい響きを覚える。就活をもじって生まれた言葉であろうが、人生終盤を迎える人々が避けて通れない現実でもある。兄から譲られた春の服を前にした作者の心境をおもひながらと複雑である。掲句は作者の主観を省いて客観のみで捉えた一句であるが、読者にさまざまな問題提起をしているように興味深い。

藤原町 斎藤雄次郎

まほろばの古墳はさくらまたさくら

【句評】 さきたま古墳群は行田市が全国に誇る古代史跡である。近年特別史跡にも指定され、作者のいうようにまさに「まほろば」かも知れない。特に日本最大級の円墳とされる丸墓山古墳の天辺に咲く桜は見事である。5月初めに開催される「さきたま火祭り」ことにもしばし飛鳥絵巻がこの地に展開される。掲句を見れば誰しも一度は行ってみたいだろう。

渡柳 大西 道子

- 鐘楼の礎石染めたる桜葉 矢場 島田 健治
- 忍城址木の香水の香夏隣 棚田町 川鍋 幽覚
- 五月晴ガザの涙は海越えて 小見 三宅 典之
- 花祭り稚児行列の後につく 緑町 松林 真弓
- 涅槃西風みんな宇宙の塵となる 忍 伊藤 誠一
- 野良猫の背にひとひらの花の屑 富士見町 江利川敏夫
- 硬すぎる蕎麦殻枕明易し 下忍 荒井 壬子
- (三沢一水選評)



4/19-20
SAT SUN

蔵めぐりまちあるき

「蔵で世界をたびずる」をテーマにNPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク主催の「第21回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」が開催されました。

このイベントは市街地にある21カ所の蔵をスタンプラリーで巡るもの。参加者らは普段非公開の足袋蔵見学やボンネットバスの乗車などを楽しみました。

足袋被服工場だった牧禎舎では今回のテーマに合わせて、マレーシア、フィリピン、ウクライナなどから行田に移住した人たちがケバブやオレンジケーキ、アクセサリーなどのお店を出店したり、写真の展示をしたりするなど訪れた人たちの食欲や興味を誘っていました。



4/20
SUN

春季柔道大会

第101回行田市春季柔道大会が行田グリーンアリーナ柔道場で開催されました。

100年以上の歴史を持つこの大会。幼年の部、小・中学生の各学年の部など県内外から185人の選手が参加しました。日頃の練習の成果を発揮しようと気合いを入れて畳に入った選手たちは、周囲の声援を受けながら、お互いに一歩も引かない熱戦を繰り広げていました。



4/26
SAT

ミュージアム缶バッジをつくろう

郷土博物館で「ちょこっと体験『ミュージアム缶バッジをつくろう』」が行われ、63人が体験しました。

このイベントでは、これまでに忍城缶バッジ、プラ板ストラップ、家紋カードケースなどの作成が行われています。当日体験した入館者らは忍城の絵や戦国武将の家紋の他、自分の好きな色に塗った図柄を基にして缶バッジを作成。体験した子どもたちは楽しそうに缶バッジマシンを操作していました。



5/4
SUN

第40回さきたま火祭り

コロナ禍を経て6年ぶりにさきたま古墳公園で「第40回さきたま火祭り」が開催されました。さきたま火祭りは埼玉地区の住民が主体となって運営している「火」をシンボルにした古代ロマン溢れる祭りで、行田商工会議所古墳まつり商工祭の催事のひとつとして始まったものです。

メインイベントでは時折雨粒が落ちる天候の中、輦に乗ったニニギノ命とコノハナサクヤ姫が登場。古代住居の産屋に火を放つと炎は夜空に向かって大きく燃え上がり、会場を訪れた人々を神話の世界に誘いました。御神火降りでは稲荷山古墳から延びる炎の帯が幻想的な光景を創り出し、最後には掛け声とともに打ち上げられた花火でクライマックスを迎えました。



行田市・南河原村合併20周年記念 第28回ときめきレインボーフェスティバルを開催します

行田市文化団体連合会に所属するステージ部門の9団体が日頃の活動の成果を発表します。

- ▶日時 7月6日(日)午前10時開演(午前9時30分開場)
- ▶場所 産業文化会館ホール
- ▶入場料 無料
- ▶主催 行田市文化団体連合会、行田市教育委員会、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

▶プログラム【オープニングプログラム】

午前10時～10時15分：県立進修館高等学校ダンス部
【特別プログラム】
午後2時～2時30分：長野ささら獅子舞保存会
【午前の部】午前10時30分～正午(予定)

参加団体名	出演グループ名
行田市合唱連盟	コーロ・フィオーレ
	行田男声合唱団
行田演奏家連盟	行田音楽家協会
行田吹奏楽連盟	行田うきしろ吹奏楽団
	行田市民吹奏楽団

【午後の部①】午後0時30分～1時30分(予定)

参加団体名	出演グループ名
行田邦楽協会	行田箏曲会 わりづめ会
	邦楽クラブ
行田日本舞踊連盟	西川流 扇由女会
	寿々司朗の会

【午後の部②】午後2時30分～4時30分(予定)

参加団体名	出演グループ名
行田ハーモニカソサエティー	荒木ハーモニカクラブ
	ハーモニカバンド・ポコフレンド
行田詩吟連盟	行田詩吟連盟加盟4グループ
行田市民謡協会	謡友会
	紀静会
行田市フラダンス連盟	下忍公民館ハイビスカス
	太田公民館リリアクラブ
	北河原公民館フラの会モキハナ

▶問い合わせ ときめきレインボーフェスティバル実行委員会事務局(産業文化会館内) ☎556-6371

第73回県展入選作品展

- ▶日時 7月2日(水)～21日(月)午前9時～午後4時30分(21日は午後4時まで)
- ▶場所 産業文化会館アートギャラリー
- ▶内容 市内在住の第73回埼玉県美術展覧会における入賞・入選者、委嘱者、招待者、審査員の作品を展示
- ▶入場料 無料
- ▶問い合わせ (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団 ☎556-6371



行田市美術家協会展「書部」「写真部」

- ▶日時【書部】6月4日(水)～16日(月)【写真部】6月18日(水)～30日(月) いずれも午前9時～午後4時30分(入場は午後4時まで)
 - ▶場所 産業文化会館アートギャラリー
 - ▶入場料 無料
 - ▶問い合わせ 同館 ☎556-6371
- #### 卒寿記念 金子一男・芙美代・夫婦展
- ▶期間 7月4日(金)～7日(月)午前9時～午後5時(7日は午後4時まで)
 - ▶場所 コミュニティーセンターみずしろギャラリー
 - ▶問い合わせ 金子 ☎090-8856-4648

0歳から楽しめるクラシックファミリーコンサート

- ▶日時 6月29日(日)午後2時開演
- ▶場所 「みらい」ホール
- ▶曲目 「あわて床屋」、「愛の喜び」、「音楽とお話」「大きな古時計」他
- ▶定員 400人(先着順)
- ▶入場料 500円(全席自由)※3歳以下無料
- ▶主催 行田音楽家協会
- ▶後援 行田市、行田市教育委員会
- ▶問い合わせ 直接宮脇書店行田店(持田964-1)または二次元コードを読み取り、代表者氏名、チケット枚数(4歳以上の方と3歳以下の方)を明記の上送信
- ▶問い合わせ 鳥羽 ☎548-0237



広告

第48回ふれあい住宅デー

- ▶日時 6月22日(日)午前10時～午後3時(受け付けは午後2時30分まで)
- ▶場所 中斉公園(長野3-24)、二子山公園(藤原町3-8-7)、水城公園市民広場他
- ▶内容 住宅無料相談、包丁研ぎ、網戸張り替え、耐震パンフレット無料配布など
- ▶主催 埼玉土建一般労働組合行田羽生支部
- ▶問い合わせ 同支部 ☎553-2321

行田混声合唱団ともしび第50回記念定期演奏会

- ▶日時 7月5日(土)午後1時開演(午後0時30分開場)
- ▶場所 忍・行田公民館ホール
- ▶曲目 ロマンチストの豚、鷗、夢みたものは他
- ▶指揮 新井康之
- ▶伴奏 宮本廣子
- ▶入場料 無料
- ▶後援 行田市教育委員会、忍・行田公民館
- ▶問い合わせ 福嶋 ☎070-3865-0677

行田市民吹奏楽団第14回定期演奏会

- ▶日時 6月22日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)
- ▶場所 産業文化会館
- ▶曲目 セント・アンソニー・ヴァリエーションズ、ディズニー・アット・ザ・ムービー他
- ▶入場料 無料
- ▶主催 行田市民吹奏楽団
- ▶後援 行田市、行田市教育委員会
- ▶問い合わせ 同団青木 ☎080-9265-7891



セタかざりをつくろう

- ▶日時 6月28日(土)午前10時30分～正午
- ▶場所 児童センター遊戯室
- ▶対象 小学生まで(未就学児は保護者同伴のこと)
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶持ち物 はさみ、のり、サインペン
- ▶申し込み 6月21日(土)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力し送信するか、直接または電話で同センター ☎554-5706



イベント

日本遺産イベント 足袋蔵のまちスタンプラリー

- ▶日時 7月5日(土)午前10時～午後4時
- ▶場所 市内中心部
- ▶内容 普段非公開の足袋蔵の内部を公開する他、足袋蔵などで書道アートイベント、ワークショップ、写真展などを開催
- ▶参加費 無料
- ▶共催 行田市日本遺産推進協議会、行田市教育委員会
- ▶問い合わせ 文化財保護課 ☎553-3581

北彩タウン情報 ～でかけませんか となりまち～

羽生市 キャッセバーガーでハンバーガーを!

キャッセ羽生内のカフェがハンバーガー店として昨年10月にリニューアルしました。

日本一に輝いた「Burger Big Bang.PJ」監修のハンバーガーを販売しています。

幅広い世代の方が気軽に楽しめるハンバーガー店として、「バーガーのまち羽生」の拠点の1つとして、地域に愛されるお店を目指します。

- ▶利用時間 午前11時～午後2時30分
- ▶問い合わせ キャッセ羽生 ☎565-5255



加須市 騎西あじさい祭り

玉敷公園、騎西総合公園、キャッスルきさいを結ぶ約1,500メートルの遊歩道「ふじとあじさいの道」で、6月下旬ごろまで、アジサイをお楽しみいただけます。

- ▶日時 6月14日(土)午前10時～午後3時※荒天中止
- ▶場所 玉敷公園(加須市騎西535-1)
- ▶その他 詳しくは加須市ホームページをご覧ください。
- ▶問い合わせ 加須市物産観光協会騎西支部事務局(騎西総合支所地域振興課) ☎0480-73-1111 (内線125)



広告

募集

自衛官等

自衛官候補生
▶受付期間 年間を通じて受け付け
▶対象 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の方
一般曹候補生
▶受付期間 7月1日(火)～9月2日(火)
▶試験日 【1次試験】9月13日(土)～21日(日)のうち1日【2次試験】10月11日(土)～26日(日)のうち1日
▶試験会場 受け付け時にお知らせ
▶対象 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の方

航空学生
▶受付期間 7月1日(火)～8月29日(金)
▶試験日 【1次試験】9月20日(土)・27日(土)【2次試験】10月16日(木)～23日(木)のうち1日【3次試験】①【海上】11月21日(金)～12月17日(水)②【航空】11月15日(土)～12月18日(木)
▶試験会場 受け付け時にお知らせ
▶対象 ①【海上】日本国籍を有する18歳以上23歳未満の方②【航空】日本国籍を有する18歳以上21歳未満の方

防衛大学校
▶受付期間 7月1日(火)～10月16日(木)
▶試験日 【1次試験】11月1日(土)【2次試験】11月29日(土)～12月3日(水)のうち1日
▶試験会場 受け付け時にお知らせ
▶対象 日本国籍を有する18歳以上21歳未満の高卒者(見込み含む)または高専3年次修了者(見込み含む)
▶ 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部熊谷地域事務所 ☎522-4855

スポーツ

第52回市長杯争奪ソフトテニス大会

▶日時 6月29日(日)午前8時30分開会(午前8時から受け付け)※天候不順の場合7月6日(日)
▶場所 総合公園庭球場
▶種目 一般男子、一般女子
▶参加費 1ペア【一般】1,500円【中学生・高校生】1,000円※一般と中学生・高校生がペアの場合は1,250円(当日徴収)
▶ 6月15日(日)までに申込用紙をEメールで提出【Eメール】info@gyoda-sta.main.jp※申込用紙はホームページからダウンロード
▶ 行田市ソフトテニス連盟理事長大西 ☎080-5492-2239



相談

2025年度第2次求人企業合同面接会

▶日時 6月25日(水)午後1時～4時(受け付けは正午～午後3時30分)
▶場所 大宮ソニックシティビル4階市民ホール(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)
▶対象 2026年3月大学・短大・専門学校を卒業予定の方、既卒3年以内の方、2027年3月大学・短大・専門学校を卒業予定でインターシップを検討している方
▶参加費 無料
▶持ち物 履歴書(複数枚)
▶その他 参加企業名は6月11日(水)からホームページに掲載します。参加企業の求人などの情報誌を来場者に配布します。入退場自由で事前予約は不要です。
▶ 埼玉県雇用対策協議会 ☎048-647-4185

女性のための初めてのマネーセミナー

▶日時 7月12日(土)午後2時～3時30分
▶場所 商工センター403研修室
▶内容 ファイナンシャルプランナーが今の時代に知っておきたい「お金の基本」について幅広く解説する。
▶定員 20人(先着順)
▶参加費 無料
▶持ち物 筆記用具
▶ 7月11日(金)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力の上送信するか、電話でライフウィズ ☎080-7150-0021(午前10時～午後5時)



2025 行田九条の会記念講演会

▶日時 6月28日(土)午後2時開会
▶場所 中央公民館第1会議室
▶演題 ノーベル平和賞・オスロ報告～授賞式に参加して～
▶講師 濃中紀子さん(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長)
▶定員 80人(先着順)
▶受講料 500円※高校生以下無料
▶主催 行田九条の会
▶ 原口 ☎556-0691

行田市水泳連盟スイミング教室

▶日時 7月中旬～9月中旬の月曜日午後5時30分～6時30分(全8回)
▶場所 市民プール
▶対象 小学1～6年生(市内の方を優先)
▶定員 30人(先着順)
▶参加費 4,000円(申し込み時に徴収)
▶ 7月6日(日)午後4時～5時に市民プール2階会議室に直接
▶ 行田市水泳連盟関根 ☎080-1131-5357

親子料理講座「からだにやさしいおやつを作ろう」

▶日時 7月5日(土)午前9時45分～正午
▶場所 VIVAぎょうだ調理室
▶内容 親子で乳製品や小麦粉を使わないチーズケーキとフルーツお豆腐白玉を作る。
▶講師 斎藤真由美さん(みこちゃんこども食堂)
▶対象 市内の5歳～小学6年生とその保護者
▶定員 親子10組(先着順)
▶参加費 1組1,000円※子2人の場合は1,500円
▶持ち物 飲み物、エプロン、三角巾、スリッパまたは上履き、手拭きタオル、マスク、持ち帰り用の袋
▶その他 ひととき保育(2歳以上の未就学児)の申し込みは6月20日(金)まで
▶ 6月5日(木)午前9時～25日(水)に行田市電子申請・届出サービス、直接、電話のいずれかの方法によりVIVAぎょうだ ☎556-9301 ※月曜日は休館



子規の直弟子・行田の俳人川島奇北と現代行田俳人・俳句展

▶期間 6月4日(水)～7月25日(金)午前9時～午後3時(土・日曜日、祝日を除く)
▶場所 熊谷商工信用組合行田支店(天満3-16)
▶内容 行田の俳人たちの作品展示
▶ 田中 ☎090-2750-5097

講座・教室・講演

幼児食教室

▶日時 7月2日(水)午前10時～11時(午前9時45分から受け付け)
▶場所 保健センター
▶対象 市内在住の1～2歳のお子さんとその保護者
▶定員 10人(先着順)
▶ 6月9日(月)午前8時30分から行田市電子申請・届出サービスで必要事項を入力の上送信
▶ ども家庭センター ☎579-8033



食生活改善推進員(ヘルスマイト)養成講座

Table with 2 columns: 日時 (Date/Time) and 内容 (Content). Rows include dates like 6月27日(金) and 7月から令和8年2月, and topics like 開講式オリエンテーション and 栄養講座.

▶対象 市内在住でボランティア活動に興味のある方
▶定員 10人(先着順)
▶受講料 1,500円(テキスト代、材料費)
▶その他 選択講座、修了式の詳細については申込者にお伝えします。
▶申し込み 6月19日(木)までに電話、直接、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法により健康課
▶問い合わせ 同課保健事業担当(内線362)



広告

広告

はじめまして

令和6年6月生まれのおともだち

令和6年8月生まれのお子さんを募集します

6月2日月～30日月に電話またはEメールで広報広聴課(内線322)

- 応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、7月2日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



たくさん食べて大きくなってね♡



森田 咲奈ちゃん(小見)

令和6年6月12日生まれ
父・拓未さん 母・綾乃さん

たくさんお出かけして思い出作ろうね



兼重 葵凧ちゃん(持田)

令和6年6月24日生まれ
父・翔太さん 母・遥香さん

我が家のアイドル! 田代道場で柔道頑張ろうね!



池田 樹生ちゃん(城西)

令和6年6月19日生まれ
父・健さん 母・佑起さん

癒やしのつむちゃん ゆっくり大きくなってね



井桁 紬希ちゃん(桜町)

令和6年6月8日生まれ
父・宗明さん 母・悠美子さん

毎日笑顔と幸せをありがとう♡



吉田 志ちゃん(北河原)

令和6年6月12日生まれ
父・研さん 母・早希さん

我が家を照らす一番星☆ すくすく育ててね!



根岸 優光ちゃん(城南)

令和6年6月6日生まれ
父・孝昌さん 母・奈々絵さん

生まれて来てくれてありがとう



本部 晴翔ちゃん(長野)

令和6年6月10日生まれ
父・紹司さん 母・由紀さん

えまちゃん♡ 1歳お誕生日おめでとう♡



川上 愛菜ちゃん(谷郷)

令和6年6月1日生まれ
父・貴志さん 母・倫子さん

市長コラム

— 新しい行田へ —

第20回「あきらめない!

17号熊谷バイパスの高速道路化」



5月14日、「命と暮らしを守る道づくり全国大会」で、私が意見発表を行いました。実は、これは市町村にとってめったにない機会なので、少し解説させていただきます。

この大会は、全国から市町村長が東京の砂防会館に結集し、国道や高速道路など道路整備の必要性を訴え、十分な予算を確保するよう国に求めることを目的として、年2回開催される霞が関・永田町の恒例行事です。今回は何と922人の首長本人が出席しました。国土交通大臣など来賓の挨拶から始まり、国会議員のマイクリレー、大会決議が満場一致の拍手で採択され幕を閉じる流れですが、フィナーレ前に全国の首長の代表者による意見発表が行われるのが通例で、今回は私がそのお役目を

頂いたというわけです。どれだけ珍しいのかと単純計算してみると、全国に1,718人の市町村長がいて、大会が年2回なので、ひと回りするのが約850年。なるほど、すごい確率です。

道路を所管する国土交通省に対するアピール効果は大きいとのことで、埼玉県からも「行田市長が意見発表を行うことは埼玉県としても大変栄誉なこと」と称えてくださいました。参議院議員を12年務めたにもかかわらず、本大会で意見発表を行うことが、これほどまでに重要であることを恥ずかしながら認識していませんでした。

鉄道駅と高速道路ICを中心としたまちづくりは地域振興の定石です。しかしながら行田市の場合、JRの駅はあるが、端っこに追いやられていて駅前開発も困難な状況。ならば行田に高速道路を! ということで17号熊谷バイパスの高速道路化の要望活動を、私が市長に就任してから始めました。あらゆる努力をする、力を尽くせば進むはず、あきらめたら終わりだ。そう自分に言い聞かせて、日々市政に邁進しています!



行田市長 行田邦子

今月の表紙

学校給食センターでは毎日小・中学校約5,500人分の給食を作っています。給食ができるまでには普段見えないたくさんの努力と愛が込められています。

この日のリクエスト給食を考えた行田中学校では生徒たちが給食の時間を楽しみにしていました。感謝を込めた「いただきます」と「ごちそうさま」。今日も愛情たっぷりのおいしい給食が各学校に届きます。



行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!



現在の友だち登録数34,600人!